

考古学特殊講義4B－Ⅱ

科目ナンバリング ARC-218

選択必修 2単位

赤司 千恵

1. 授業の概要(ねらい)

本科目は、遺跡から出土する植物遺存体の扱い方、分析方法、研究手法について包括的に学ぶことを目的とする。出土植物は、当時の食性、農耕技術、森林資源利用、古環境などにかんする様々な情報を提供してくれる。授業内では、多種ある植物遺存体の特性と分析方法(種実、材、花粉、プラントオパールなど)、それぞれの植物遺存体から何が分かるのか、何をどう組み合わせると何が引き出せるのか、それらをどう解釈するのかなど、国内外のさまざまな研究例を紹介しながら説明する。

2. 授業の到達目標

出土植物の種類と分析方法、その特性について理解し、複合的な考古学研究にかんする幅広い知識を習得する。また、一般的な植物考古学の論文の構成と、どのようなことに注意して読むべきかを理解し、適切に引用できる能力を身に着ける。

3. 成績評価の方法および基準

リアクションペーパー(20%)とレポート(80%)による。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

多数の論文を紹介するので、各授業内で引用文献リストを配布する。紹介する論文を1本でも読んでみることを。

7. 授業内容

- 【第1回】 植物考古学とは
- 【第2回】 植物考古学史
- 【第3回】 大型植物遺存体(種実)の分析方法
- 【第4回】 大型植物遺存体(種実)の研究
- 【第5回】 大型植物遺存体(材)の分析方法
- 【第6回】 大型植物遺存体(材)の研究
- 【第7回】 花粉分析(オンライン)
- 【第8回】 プラントオパール分析
- 【第9回】 残留有機物分析
- 【第10回】 出土植物と実験考古学
- 【第11回】 出土植物の同位体分析
- 【第12回】 出土植物のDNA分析
- 【第13回】 デンプン粒分析
- 【第14回】 食品遺存体の分析
- 【第15回】 植物考古学の複合的研究